

平成22年4月16日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19730235

研究課題名（和文） 地域経済が示す産業革命～新潟県北魚沼郡の蚕糸業と小出銀行～

研究課題名（英文） The Regional Economies and the Industrial Revolution

研究代表者

内藤 隆夫（NAITO TAKAO）

北海道大学・大学院経済学研究科・准教授

研究者番号：60315744

研究分野：経済史

科研費の分科・細目：経済史

キーワード：産業革命・地域経済・地方銀行

1. 研究計画の概要

本研究では新潟県を事例に、蚕糸業（養蚕業および製糸業）・金融業の展開を地域経済と関連づけて検討し、さらにそれを石油産業と地域経済の関係と比較検討する。

前者の蚕糸業・金融業の展開と地域経済の関係については、具体的には新潟県北魚沼郡の蚕糸業と、同地方の主要な金融機関であった小出銀行の動向、および両者の関連を中心に検討する。

後者の石油産業の発展と地域経済の展開については、巨大原油採掘業者中野家と個人石油精製業者たちの活動との関連、および1914年に本社を東京に移転するもの新潟県を本拠地として活動を続けた日本石油を中心に検討する。

最終的に、蚕糸業・金融業・石油産業と地域経済の関係を比較検討することにより、産業革命あるいはそれ以後も含めた広い意味での産業化と地域経済との関係を、新潟県という特定地域に即しつつも、より多面的に論ずることを目標とする。

2. 研究の進捗状況

初年度においては、新潟県北魚沼郡の蚕糸業・金融業に関する基礎的史資料の収集と分析を行った。その上で、小出銀行の経営史的研究が良好に進捗したため、10月に経営史学会全国大会で報告を行った。

第2年度においては、前年度の学会報告とそこでの批判を踏まえ、さらなる資料収集とその整理・分析を行った上で学会誌『経営史学』に論文を投稿した。またこれとは別に、同学会からその英文誌“Japanese Research in Business History”に、同報告を外国人向

けに内容を改めた上で投稿するよう要請を受け、論文を提出した。さらに、蚕糸業と地域経済の関係の比較対象となる新潟県の石油産業と地域経済の関係に関する資料収集を行った。

第3年度においては、まず前年度に『経営史学』に投稿した論文の査読結果を受けて加筆・修正を施した上で最終原稿を提出した。

“Japanese Research in Business History”に投稿した論文についても最終原稿を提出し、刊行された。また上記2論文の作成過程で新たに生じた問題意識をもとに、小出銀行と中越地方の他の地方銀行との資金貸借関係を「インターバンク市場」という視点から捉えた報告を、TCER コンファレンスにおいて報告した。さらに、新潟県の石油産業について、巨大原油採掘業者中野家の事業展開に関する論文を紀要『経済学研究』に投稿し、刊行された。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に推移している。

（評価の理由）

本研究では、資料の徹底的収集とその整理・分析を前提としつつ、新潟県あるいはその中越地方における蚕糸業・金融業・石油産業の展開を検討し、その成果を複数の学会報告・論文執筆によって公表することを具体的な目標としており、その目標は以下の「5. 代表的な研究成果」に示される形で順調に達成されていると考えている。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度である本年度においては、大正期の新潟県あるいはその中越地方における蚕

糸業・金融業・石油産業の展開を、この三者の共通点・相違点を意識しつつ検討することを通じて、新潟県における資本主義的な経済・社会の成立過程を浮き彫りにする。

具体的には、第一に、大正期における小出銀行の事業展開を、それに大きな影響を与える北魚沼郡の蚕糸業の展開との関連を意識しつつ検討し、その上で、同行を一つの主要なプレーヤーとした、新潟県中越地方における「インターバンク市場」の成立過程を明らかにする。

第二に、大正期における新潟県の石油産業の展開について、国内最大の石油会社で新潟県を本拠として活動した日本石油と、巨大原油採掘業者中野家から原油供給を受けた個人石油精製業者たちの事業展開に即して検討する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

①内藤隆夫「明治後期～昭和初期における中野家の原油採掘業と原油販売」(北海道大学『経済学研究』第59巻第4号、2010年3月、17～37頁)。

②内藤隆夫「銀行条例体制下における地方銀行間の階層構造の形成—明治～大正期新潟県中越地方の金融市場—」(*Hokkaido University Graduate School of Economics and Business Administration Discussion Paper Series B*, No. 2010-84, January 2010, pp.1-19)

③内藤隆夫「講演 日本の産業革命」(札幌大学経済学部附属地域経済研究所『地域と経済』第6号、2009年3月、135～146頁)

④Takao Naito, “A Business Model of Silk Filature Financing by Local Banks — The Case of the Koide Bank —”, *Japanese Research in Business History*, vol.25, 2008, pp.11-32.

[学会発表] (計4件)

①「銀行条例体制下における地方銀行間の階層構造の形成—明治～大正期新潟県中越地方の金融市場—」(TCER コンファレンス「制度・組織と経済発展」、東京大学日本経済国際共同研究センター、2010年1月30日)

②「明治後期～昭和初期における中野家の原油採掘業と原油販売」(政治経済学・経済史学会北海道部会、北海道大学、2009年12月12日)。

③「国用糸製糸業向け製糸金融を行う地方銀行のビジネス・モデル—新潟県北魚沼郡小出銀行の事例—」(政治経済学・経済史学会北海道部会、北海道大学、2008年10月4日)。

④「銀行類似会社＝地方銀行における健全経営と地域支援の相克—小出金融社の事例—」(経営史学会第43回全国大会、愛媛大学、2007年10月20日)

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]